

開講科目名	卒業研究		
担当教員	情報全	開講区分	単位数
		通年	10単位

授業のテーマと目標

各学年が一つの研究室に一年間所属し、指導教員のもとで一つの研究テーマについて研究を行う。ここでの研究活動を通して、これまでに聴講してきた様々な講義から得た知識の実践・活用・有効性の確認、さらにはより深い知識の習得を図る。また、新しい知識・技術を創造・開発する研究活動に経験することも目的の一つである。いずれにしても、与えられたテーマに対して、各自で問題点を抽出し、文献を調べ、解決法を見出すことが重要である。

到達目標：
所属する研究室の研究分野における高度な専門知識を習得するとともに、これらの知識・技術を用いて研究を行い、その成果を卒業論文としてまとめること。また、論文の内容を限られた時間の中でわかりやすく発表すること。

授業の概要と計画

情報知能工学科には大きく分けて三つの大講座：情報システム講座、情報認識講座、知的システム講座があり、この下に情報に関わる多くの研究分野がある。学生の所属する研究室によりその内容が異なるので、詳細については神戸大学工学部情報知能工学科のホームページを参照のこと。

授業の進め方：
詳細は各研究室によって異なるが、基本的には二つの部分から成る。その一つは、各研究室で必要とされる基礎知識・技術を習得・理解するため、論文を読んでその内容に関して議論すること。その二は、これらの知識・技術に基づき、新しい知識・技術・知見を創造・開発するための研究を進めること。

成績評価方法と基準

研究室における勉学の態度により、総合的に評価する。

履修上の注意(関連科目情報等を含む)

研究室に配属になった後は、毎日研究室に出てきて勉学、研究に励むこと。研究室においては、他の学生と協調して研究生活を送ること。

オフィスアワー・連絡先

学生へのメッセージ

高度な専門知識を得るために、基礎的な勉学に励むとともに最新の論文等を読んで理解すること。また、卒業研究を、各自の自己創造性を発揮できる場とするよう努力すること。

テキスト

参考文献は、各研究分野によって異なり、各々の分野において多数あるが、主要な著書・論文等は各研究室に準備されている。また、各自の研究テーマに必要な文献を自ら調べることも重要である。

参考書・参考資料等